

農業



平成28年2月号
会誌 No. 1609

目次

総裁 秋篠宮文仁親王殿下……………染 英昭 3
栃木県の農事功績表彰受章農家をご視察

巻頭言

農は国の本……………吉田 岳志 7

論 壇

縮む飲食費……………中嶋 康博 8

先進的農業経営研究会

中国四国地域の大規模水田作経営の事例…………… 10

－わが国農業を先導する先進的農業経営研究会（第8回会合）－

話題提供

地元の農地を集積して、米を中心に……………(有)田中農場 田中 正保 10

特別栽培農作物を生産販売

水稲、大豆を中心に中山間地で優良……………(有)鹿野アグリ 倉益 勲 14

農地を後世に受け継ぐ集落営農組織

質疑応答・意見交換…………… 22

表彰農家訪問

機械化と雇用労働の導入によるレンコンの大規模周年生産……………望月 龍也 35

－徳島県鳴門市大津町に仲須清氏、仲須真理氏を訪ねて－

農業・農村の現場から

機械化一貫体系による加工業務用キャベツ生産……………若林 勝史 42
- 北海道・鹿追町の取り組み -

世界の農業は今

ナイジェリアの農業 - 特有の農産物を中心に - ……………常松 浩史 48

私の経営と志

目指す農業と私のスタイル……………宮崎 修太 54

東京農業大学収穫祭から (第2回)

18億人のごはん……………国際農業開発学科 農業開発政策研究室 56
- HALALをもっと身近に -

農政情報

…………… 61

大日本農会だより…………… 62

ミニ情報

「無人化危惧集落・高齢化進行集落の農地面積」…………… 53

「農業地域類型別の人口推移と将来予測」…………… 61

表紙写真説明

大寒の日のアルストロメリアの収穫 (長野県伊那市)

1970年代、今から約40年前に始まった長野県上伊那地域のアルストロメリア栽培は、平成26年、栽培面積18ha 出荷量15百万本あまりで、JA 上伊那の販売金額が念願の10億円を突破した。南米原産でユリズイセン科に分類されるこの花は白、黄、ピンク、赤、紫などカラフルな花色が揃い、栽培品種は120近くにのぼる。夏の暑さが苦手なため、高冷地の長野県でも「地中冷却」といって、夏の間地下に配管したパイプに冷水を流して出荷時期を早めたり、生産量を増やす栽培方法が行われている。

かつては秋から翌春までが主な出荷時期だったが、品種育成の成果で新品种が続々と登場したことや栽培方法の工夫により、今ではほぼ年間通して出荷されるようになった。温度が低い冬期間だと1カ月以上楽しむことができ、日持ちの良さと品種のバリエーションの多さから徐々に人気が出てきている。いずれはキクやカーネーション、バラなどのメジャー品目に肩を並べる日を夢見て、生産者約70名が奮闘している。

(長野県伊那農業改良普及センター 平谷敏彦)